

# 2025年度 日本頭蓋顎顔面外科学会 専門医認定試験

(お願い)

座席の指定はありません。

前方から左右の間隔をあけて着席してください。

試験時間	17:05	～	17:30
------	-------	---	-------

1. 下顎骨関節突起骨折の骨頭転位に関与する筋肉として正しいのはどれか。1つ選べ。

- a) 咬筋
- b) 側頭筋
- c) 顎二腹筋
- d) 内側翼突筋
- e) 外側翼突筋

2. Le Fort I 型骨切り術の合併症として最も頻度の低いものはどれか。1つ選べ。

- a) 歯髄損傷
- b) 上顎洞炎
- c) 顎骨壊死
- d) 内頸動脈損傷
- e) 眼窩下神経麻痺

3. 顎裂部骨移植について正しいものはどれか。

1つ選べ。

- a) 骨移植前に歯列矯正が必須である。
- b) 顎裂部への歯牙の誘導を目的とする。
- c) 腸骨の皮質骨が最も多く用いられる。
- d) 披裂側犬歯の萌出後に行うことが多い。
- e) 未萌出歯が存在しない場合は必要ない。

## 4. 不適切問題のため削除

5. 頭蓋骨縫合早期癒合症に対する頭蓋形成術に関する以下の記述のうち、誤っているものを1つ選べ。

- a) Spring-assisted cranioplastyは、本邦においてもよく用いられている術式である。
- b) 骨延長法による頭蓋形成術では、一期的頭蓋形成術よりも術後に骨欠損を生じにくい。
- c) Strip craniectomyとヘルメット矯正を組み合わせる治療は、近年普及しつつある。
- d) 頭蓋内容積の拡大を伴う一期的頭蓋形成術では、皮膚の伸展性が頭蓋拡大量の制限要因となる。
- e) 骨延長法による頭蓋形成術では、基本的に延長器を取り外すための手術がもう一度必要になる。

6. 皮弁とその栄養動脈の組み合わせで  
誤っているものはどれか。 2つ選べ。

- a) Abbe flap . . . . . labial artery
- b) Nasolabial fold flap . . . . Facial artery
- c) Axial frontonasal flap . . . Dorsal nasal artery
- d) Median forehead flap . . . . Infratrochlear artery
- e) Submental island flap . . . . Inferior labial artery

7. 眼瞼形成術について、正しいものはどれか。

1つ選べ。

- a) 下眼瞼脱脂術で注意すべき外眼筋は下直筋である。
- b) 目頭形成術ではredraping法やW形成術が用いられる。
- c) 下眼瞼眼窩脂肪移動術は眼窩脂肪を上眼瞼に移動する。
- d) Hamra法は結膜切開から下眼瞼眼窩脂肪移動術を行う。
- e) 眉毛下皮膚切除術で生じる変形にはtenting lineがある。

8. 口蓋裂初回手術の要点として誤っているものはどれか。  
2つ選べ。

- a) 裂の閉鎖
- b) 歯肉粘骨膜の縫合
- c) 口輪筋の縫合再建
- d) 粘膜欠損による瘢痕の最小限化
- e) 口蓋帆挙筋などからなる筋束の縫合再建

9. 口唇口蓋裂に関わることについて、正しいものはどれか。1つ選べ。
- a) PNAMとは、口唇裂初回手術後に行う顎矯正治療である。
  - b) 口唇裂初回手術のMillard法は、三角弁法に分類される。
  - c) 口蓋裂患者は、乳幼児期に真珠腫性中耳炎を合併することが多い。
  - d) 口蓋形成術のFurlow法では、V-Y advancementによって口蓋を延長する。
  - e) 粘膜下口蓋裂におけるCalnanの3徴とは、口蓋垂裂、軟口蓋正中の透過性、硬口蓋後端の骨欠損の3つである。

10. 耳介について、正しいものはどれか。

1つ選べ。

- a) 埋没耳の治療の第1選択は手術である。
- b) 耳介の発生は第1・第2鰓弓に由来する。
- c) 立ち耳の主な成因は固有耳介筋の付着部異常である。
- d) 絞扼耳では対耳輪上脚は強く屈曲し耳輪が垂れ下がる。
- e) 耳介は顔面の発生の進行とともに外側かつ尾側へ移動する。